

第16回ワシントン条約締約国会議 in バンコク(タイ)

3月3日～14日、ワシントン条約の会議が開かれます。

3月3日～14日、第16回ワシントン条約締約国会議がタイのバンコクで開催されます。トラフィック イーストアジア ジャパンは、締約国会議に向けて数回のシリーズでワシントン条約関連情報を各マスメディア関係者の方々に配信することにしました。会議に関する正確な情報の入手や取材にお役立てください。また、ご不明な点や詳細に関してはトラフィックまでお問い合わせください。

会議で何が決まるのか？

必ずとりあげられる議題のひとつに**附属書**の改正提案というものがああります。ワシントン条約の締約国会議では、実際に**国際取引を禁止や規制**の対象にする動植物が決められます。その結果によって、輸出入や海外から持ち込む際にこれまで自由であった動物や植物の製品も許可が必要となったり、まったく輸出入ができなくなったりします。



附属書Ⅰ



附属書Ⅱ



附属書Ⅲ

附属書改正の行方を考えてみませんか。

国際取引の禁止や規制のランクを決める附属書ですが、会議のたびに、必要に応じて改正について議論されます。新たに規制の対象とするものや、規制を緩くするものなど、会議全体のなかでも大きな議題となっています。

↓ ウェブサイトで公開中。

● 「附属書改正提案の分析」

各提案に関し、トラフィックが取引や利用について、IUCN（国際自然保護連合）が生物学的な情報や生息状況について情報を集め、この分析結果にまとめています。

● 「トラフィックの見解」

トラフィックは、総合的また客観的に分析結果を検討し、それらに対する見解をまとめ公開しています。各提案に対し、支持あるいは不支持を理由とともに述べています。

提案を考慮する際にどこかポイントとなるかが整理されており、内容を具体的に検討するのに役立つ資料となります。



締約国が提案を判断する際の参考として利用されます。

附属書改正が提案されている動植物 ★日本の固有種が附属書掲載提案にあがっています。

各国より70の附属書改正提案が提出されています。（以下抜粋）

▲ 附属書Ⅰへの掲載が検討されます。

ホッキョクグマ、アフリカマナティ、ビルマホシガメ、ノコギリエイ など
全9提案（すべて附属書Ⅱ→附属書Ⅰ）

▲ 附属書Ⅱへの掲載が検討されます。

オニトマキエイ属全種
（掲載なし→附属書Ⅱ）
シュモクザメ類、ヨゴレ、ニシネズミザメ
（掲載なし→注釈付で附属書Ⅱ）
リュウキュウヤマガメ ★日本政府が提案！ ★
（掲載なし→条件付で附属書Ⅱ）
多数のイシガメ科/スッポン科のカメ
（掲載なし→附属書Ⅱ）
多数のマダガスカル植物種
（掲載なし→附属書Ⅱ） など

▼ 規制を緩くする提案が出ています。（ダウンリスティング）

ヴィクーニャ（附属書Ⅰ→一部を附属書Ⅱ）
数種のキジ科の鳥（附属書Ⅰ→Ⅱまたは掲載なし）
アメリカワニ（附属書Ⅰ→一部を附属書Ⅱ）
イリエワニ（附属書Ⅰ→条件付きで附属書Ⅱ）
オーストラリアの哺乳類6種（附属書Ⅰ→掲載なし）
オーストラリアの両生類2種（附属書Ⅱ→掲載なし） など

※附属書改正提案は学名で記載されています。和名はトラフィック調べによる。

©Flickr Creative Commons



©トラフィックイーストアジアジャパン



©Flickr Creative Commons



詳しくはウェブで！

CoP16 特集ページ → <http://www.trafficj.org/cop16/>

関連ウェブサイト

トラフィックネットワーク(英語) : www.trafficj.org
ワシントン条約事務局(英語) : www.cites.org

TRAFFIC
the wildlife trade monitoring network

トラフィック イーストアジア ジャパン
(略称: トラフィックジャパン)

TEL: 03-3769-1716 E-mail: traffic@trafficj.org

トラフィックジャパンの
ここに注目！

日本がはじめて
附属書掲載を提案！